

「バック確認OK！」

「タイヤ・ホイール確認OK！」

「ワイヤー・フック確認OK！」

「水・オイル確認OK！」

【休み明け】

『うっかり』・『ぼんやり』 要注意！

休み明けは、身体がなまっていたり、休日の活動で心身が疲れていて、
意外に危険が大きいことを意識しましょう

- 休み明け初日の事故は、2日目に発生した事故の1.6~1.8倍
- さらに乗務日数が続くに連れて事故は減少しています

運転手のミスや漫然運転は
週の半ばより、明けの日に多い

労災事故に注意

- 休み明けというのは、体と頭が仕事モードに切り替わっていないことが原因
- 普段からやり慣れているはずのなんでもない作業中にケガをしてしまうケースが多い

◇子どもたちは、「冬休み」◇

- 夕方の住宅街の走行は、「最徐行」
- 交差点の横断歩道(特に信号のない)に注意しましょう

北海道警察 スリップの危険度 交通掲示板に

今シーズンに入っておよそ170件のスリップ事故

死者は3人、負傷者は196人

踏み固められた路面の雪が緩む、0度前後の気温のときが特に、スリップの危険が高まる
「急発進や急ブレーキなど『急』という言葉が付く運転をしないよう気をつけてほしい」

2019年12月29日 18時39分

雪道での事故を防ごうと、道警はスリップが起きる危険度を判定して国道沿いの交通掲示板で知らせる取り組みを始めました。国道230号線の札幌市と、喜茂別町の間にある5か所の交通掲示板にスリップの危険度を表示しています。その日の予想気温や降雪量などをもとに危険度の低いレベル1から最も高いレベル4までの4段階で判断し、レベル3以上になったときに注意を呼びかける仕組みです。

道警によりますと、道内では今シーズンに入って今月26日現在でおよそ170件のスリップ事故が起きていて、死者は3人、負傷者は196人にのぼっています。

踏み固められた路面の雪が緩む0度前後の気温のときが特にスリップの危険が高まるということで、道警本部交通企画課の警部は、「危険レベルが高い日は急発進や急ブレーキなど『急』という言葉が付く運転をしないよう気をつけてほしい」と話しています。

正午過ぎ 函館 大沼トンネル、アイスバーン

スリップ トンネルの壁に衝突 車6台衝突 2人けが

- ◇凍結路面 スピードを落とし、急ハンドルを控えましょう◇
- ◇「昼食後」の…「ぼーっと運転」、「居眠り運転」 要注意◇

2019/12/31(火) 16:38

31日正午すぎ、七飯町の大沼トンネルで車6台が絡む事故があり、2人が病院に搬送されました。函館方面から札幌方向に走っていた軽トラックがスリップし、トンネルの壁に衝突したのをきっかけに、後続の車合わせて6台が次々に衝突しました。この事故で40代の男女2人が病院に運ばれましたが、いずれも軽傷です。警察によりますと、当時路面はアイスバーン状態だったということです。

夜5時 日は落ち、街灯も少なかった

国道を横断中の82歳女性 車2台にはねられ死亡

“反対車線”でもはねられる 最初にはねた男性逮捕

- ◇夜間…ヘッドライトは遠目が基本、早期発見！ 事故防止◇
- ◇とにかく、「気をつけて見る努力」をしましょう◇

2019/12/30(月) 23:14

30日午後5時ごろ、岐阜県の国道で、道路を横断中の女性(82)が乗用車にはねられ、はずみで反対車線へ飛ばされたうえ、走ってきた別の軽乗用車にもはねられ、頭を強く打ち死亡しました。警察は最初にはねた車を運転していた男性(66)を現行犯逮捕しました。事故当時、日は落ち、街灯も少なかったということです。